

へだまと進ちゃん  
岩谷美苗、NPO 法人樹木生態研究会  
Hedama and Susumuchan  
Minae IWATANI  
Society of Trees Life

進ちゃんの突然の訃報は、大変ショックでした。進ちゃんは私たちにとって、ずっと中津川にいる人だとばかり思っていたからです。

はじめて秩父の中津川に行ったとき、民宿中津屋で進ちゃんは中津の歴史などについてたくさん教えてくれました。でも、なーんか受け売り感満載で、軽かったんですよ。進ちゃんが何度も言っていた「へだま枯れよ。からむし枯れよ。」っていったい何だったんでしょう？結局よくわかんなかったです。

進ちゃんは、よく酔っぱらって真っ赤になってゴロゴロ寝ているもんだから、奥さんのみっちーに「赤マグロ」と呼ばれていて、まさに赤マグロ！みっちーはうまいこと言うなーと思っていました。冒険学校の小学生には「もじゃ」と呼ばれていて、運転席にいる進ちゃんの髪に小学生が食パンの

袋をしめるあのクリップみたいなのをたくさんつけて遊んでいました。進ちゃんは怒ることもなく、されるがままで、もじゃもじゃの面白い頭になっていたのを今でも覚えていています。進ちゃんはおおらかで思いやりのある人で、進ちゃんの存在は周りをリラックスさせるので、みんな大好きだったと思います。

進ちゃんが亡くなったなんて、まだあまり信じられませんが、進ちゃんの記憶は私たちの中にあります。進ちゃんとの出会いは私たちの貴重な宝物です。中津川に行けば、進ちゃんのことを思い出さずにはいられないでしょう。進ちゃんのことだから、あの世でもみっちーに「この赤マグロ！どいて！」と、仲良くやっているといます。

進ちゃん、どうか安らかに眠りください。